

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	051400	2998-5911
事業コード	並木公民館施設提供事業	並木まちづくりセンター			
051404	開始年度 昭和 58 年度		終了年度	年度	グループ コミュニティ推進・公民館グループ

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進事業)			
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 社会教育	基本方針	公民館機能の充実を図ります
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のため、各種の事業を行うとともに、その施設を住民の集会その他の公的利用に供することとされている。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の学習意欲の向上と社会教育の推進を図り住民自治の構築を目指す。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	24,333 人
	主に並木地区住民			平成 27 年度	24,118 人
事業の具体的な内容及び実施方法	施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに25年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間制限)を設けている。				

会計種別	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額	23,328	21,360	23,376
決算(見込み含む)	19,577	18,289	
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人) (1.00 人)	(人) (1.00 人)	
正規職員人件費	0.75 人 6,541	0.75 人 6,495	
事業費合計	26,118	24,784	
財源内訳	26,118	24,784	23,376
一般財源			
国・県支出金			
その他()			

「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26				H 27		H28見込み	将来目標
				実績	目標	実績	目標	実績	目標		
活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日 は4区分で計算)	回	15,554	15,554	17,629	17,629	16,000	16,000	16,000	
	年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	6,124	6,124	6,835	6,835	10,000	10,000	12,000	

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値	将来目標
				実績	目標	実績	目標		
成果指標	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	%	39	75	39	75	75	75
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	52	52	どちらかをチェックしてください		

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	今後も施設利用者に影響が生じないよう施設の適正管理・修繕を計画的に実施し、公民館との共催事業や地域コミュニティ活動の支援に配慮するとともに、効率的な施設提供に努めていくこととする。	・部屋ごとに使用目的の制約があるためある程度はやむを得ない。 ・人気のある部屋とそうでない部屋での差がある。 (どちらかという1階の部屋は不人気)

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	施設提供の実績が一定化している。
	方向性の	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	現状予算で見込まれているため。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性		
	外階段脇の段差解消機が老朽化しており、高齢者・身障者などの利用に支障をきたすおそれが大きい。エレベータの新設を視野に入れた計画を検討中である。		施設利用者に影響が生じないよう適正な維持管理を計画的に実施し、公民館主催事業や地域コミュニティ活動の拠点として支援に配慮しながら、効率的な施設提供に努めていく。		
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	並木まちづくりセンター長 阿部 美和子		

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	照明・冷暖房	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無